

# 遠賀川の概要

## 遠賀川について

遠賀川は、その源を福岡県嘉麻市馬見山に発し、飯塚市において穂波川を合わせ市街部を貫流し、直方市において彦山川を合わせ直方平野に入り、さらに犬鳴川、笹尾川等を合わせ芦屋町において響灘に注ぐ、幹川流路延長61km、流域面積1,026km<sup>2</sup>の一級河川です。

流域の地形は、三方（福智山地、英彦山地、三郡山地）を山々に囲まれており、山地、丘陵地、平地の三つの異なった要素から構成され、海拔約200m以上で急斜面を持つ山地と、それ以下の丘陵地と平地に分かれます。

遠賀川流域の年平均降水量は、1,500～2,000mm前後で、年間降雨量の3～4割が集中する梅雨時に洪水が発生します。

流域は、稲作文化や日本の近代化を支えた石炭産業など、古くから日本人の生活や文化と深く結びついています。現在は自動車産業や教育機関が立地するとともに、北九州市や福岡市のベッドタウンとして宅地開発が進んでいます。一方、周辺の山々は耶馬日田英彦山国定公園や北九州国定公園に指定され、人々の憩いの場や身近な自然環境として親しまれています。

遠賀川は、筑豊地方と北九州都市圏の生活と産業を支える貴重な水源として、また人々と生物が集う空間として、重要な役割を担っています。



遠賀川水系位置図

- 水 源 : 福岡県嘉麻市馬見山 (標高978m)
- 流域面積 : 1,026km<sup>2</sup>
- 幹線流路延長 : 61km
- 直轄管理区間 : 133.8km (遠賀川、彦山川、西川、黒川、笹尾川、犬鳴川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の10河川を管理)
- 流域内市町村 : 22市町村 (7市14町1村)
- 流域内人口 : 約62万人 (※)
- 想定氾濫区域面積 : 165.1km<sup>2</sup>
- 想定氾濫区域内人口 : 約20万人 (※)
- 年平均降水量 : 1,500～2,000mm

※出典：H22河川現況調査

